

# 山雲水月

発行責任者 龍源寺 住職 渡辺龍道

ぶつきょうぞうけいけんきゅうじょ

## 佛教造形研究所

ぶつぞうちょうさほうこく

## 佛像調査報告



↑ 仁叟寺仏像調査



7月から8月に掛けて、佛教造形研究所の本間紀男所長、岩崎靖彦先生、藤田尚樹先生、県内仏像の権威である県文書館岡部史先生、田邊雅明先生ほか町教育委員会、長谷川寛見先生ら寺誌編纂委員の皆様の監修のもと、仁叟寺龍源寺の仏像の大規模な調査が行われました。仏像約450体を一体一体丁寧

におうそう  
調査。また仁叟寺山門の五百羅漢、十六羅漢、仁王像一対も経年のほこり

埃を払い、調査を行いました。

東京藝術大学大学院の研究所が発祥の佛教造形研究所では、世界遺産の日

とうしょうだいじ  
光東照宮や奈良の唐招提寺などの仏像の修復を手掛けた修復に関しては日本を代表する組織であります。

調査では、龍源寺本尊は江戸初期の作でまた脇侍の地藏観音像は長根にあった松林寺から来たことがわかりました。また、蚕影山の本尊は大変古いものであり、中世の様式を遺していることも判明。ただしいずれも、これから修復が必要な時期になっており、早急に対処した方がいいとのことでした。

仁叟寺では本尊様が史実通り室町期の作で江戸初期に補修を加えてあること、開山堂の開山像及び二世像も同様に室町期の作であるというお墨付きを頂きました。また、秘仏であった霊場の千手観音像は半島もしくは大陸から渡ってきた可能性が高く、山門の仁王像一対は鎌倉期の作であるとのことでした。

今回の調査は気温35度以上の猛暑の中、延べ8日間行われました。結果は仁叟寺誌に反映をさせていただこうと考えております。関係者各位おかれましては、改めて感謝を申し上げます。



↑ 龍源寺仏像調査



↑ 仁叟寺山門仏像修復作業

### 平成17年

### 龍源寺年間行事予定

- 1/1 年頭祈禱
- 1/3~1/4 年始挨拶
- ※2/3 大節分会
- ※2/15 涅槃会
- ※3/14 大般若・大施食会
- ※3月中旬 筆供養法要
- 3/18~3/24 春季彼岸会
- ※4/8 花祭り
- 4/29 大施食会兼蚕影山例祭法要
- 7/13~7/16 県外檀信徒棚経
- ※7月下旬 第24回子ども禅の集い
- 8/13~8/16 盂蘭盆会
- 9/20~9/26 秋季彼岸会
- ※12/8 成道会
- ※12/31 除夜会
- ※毎週土・日曜日 書道教室
- ※毎週水曜日 定期坐禅会
- ※隔週水曜日 梅花講稽古・華道教室
- ※は本寺仁叟寺にて開催

だいほんざんそうじじ      だいうざんさいじょうじ

## 大本山總持寺・大雄山最乗寺参拝旅行参加者募集



↑ 本格的精進料理

前号でもお伝えしました通り、来る10月29日（土）に大本山總持寺及び大雄山最乗寺参拝旅行を行う予定です。日帰りで両寺院を拝観し、昼食は大本山總持寺の本格的精進料理を召し上がっていただきます。また大雄山最乗寺はちょうど紅葉が見頃な時期でもあります。

参加費は保険料参拝料昼食代バス代金など込みで、お一人様9,500円となっております。9月末まで参加を受け付けており増す。檀信徒でなくても結構です。この機会に是非、ご縁のある皆様方のご参加をお待ち申し上げます。

## かくしゅざぜんかいほうこく 各種坐禅会報告

今年も毎年恒例の子ども禅の集いが7月25日～26日にかけて開催されました。今年で24回目の同坐禅会は、小学2年生～6年生が31名参加し、1泊2日の修行生活を体験いたしました。

また、8月8日～10日には東洋大学文学部印度哲学科渡辺ゼミの合宿が行われました。朝のお勤めと坐禅、作務という清掃作業を行いました、欣光閣においては活発なゼミの研究発表が行われました。

ほか、サンコーグループや仏教経営フォーラムといった各企業団体学校など数多くの坐禅会が行われております。坐禅会は個人では毎週水曜日の定例坐禅会、団体は随時行っております。希望者は当寺までお問い合わせ下さい。



(上) 子供禅の集い参加者の皆さんと



(下) 東洋大学文学部ゼミ合宿参加者の皆さんと

## 龍源寺探索-12-

今回の龍源寺探索では、「歴代住職墓地」を紹介いたします。龍源寺の墓地の一番奥まった場所に歴代住職墓地があります。また、歴代住職だけでなくそのお弟子さんや小僧さん、尼僧さんもこの場所に墓石があります。

僧侶の墓は一般の墓石と異なり坊塔と呼ばれる形をしております。僧侶の頭から由来した形で卵のような形をしております。

龍源寺歴代住職は30人おり、そのうち遷化された住職は27人です。しかし、遺されている墓石はそれよりも数が少なくまた墓地も整備がされていないため荒れております。今後、早いうち



↑ 歴代住職墓地

## 仁叟寺通信-15- 寺本欣正サンコー会長三回忌



↑ 故寺本サンコー会長三回忌風景

去る9月9日（金）、仁叟寺の最高顧問檀家であり  
さいこうこもんだんか  
 再中興開基の故寺本欣正翁（戒名、龍昇院殿欣光正悦大  
さいちゅうこうかいき  
 居士位）の三回忌の法要が、仁叟寺本堂に於いて莊嚴に  
そうごん  
 と執り行われました。小寺弘之群馬県知事はじめ中曽根弘  
 文、山根隆治両参議院議員、松浦高崎市長、齋藤吉井町  
じゅうちん  
 長など政財界の重鎮はじめ約200名を超える多くの方々  
 が焼香に訪れました。改めてサンコー会長、故寺本欣正  
し  
 翁の生前の徳の大きさが偲ばれた法要でした。尚、会長  
 亡き後は施主である寺本欣一社長がサンコーグループの  
 跡を継ぎ堅実な経営をしております。

とくはふきょうしほうわかい

### 特派布教師法話会にご来寺下さい！

来る10月7日（金）午後1時30分より、仁叟寺本堂に於きまして、曹洞宗特派布教師の講演会を行います。特派布教師とは曹洞宗を代表する布教師であります。この時期に各寺院を廻り法話をし布教を行ってくださいます。

担当の寺院は各地域より一ヶ所であり、本年は仁叟寺が会場となりました。この機会に是非、宗門を代表するご老師のご法話を聞き、日ごろの生活の糧にさせていただければと思っております。

この度の布教師は福島県の清光寺ご住職本田大聖老師が、遠路より来て頂く予定になっております。

また、当寺総代世話人を務められている方々はじめ大勢の檀信徒のご来寺をいただきたく、万障お繰り上げてのご参加を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。



### ロン（迷い犬）を探しています

仁叟寺の人気者、ロン君が8月初旬にあった大雷の際、逃げてしまい以来行方不明です。見かけられた方は是非とも下記ご連絡先までご一報下さい。宜しくご協力の程、お願い申し上げます。



- |    |   |
|----|---|
| 名前 | ロン  |
| 性別 | メス(♀)   |
| 年齢 | 13歳   |
| 種別 | 雑種  |
| 特徴 | ①茶色の毛<br>②赤い首輪(電話番号の記載あり)<br>③人懐こい大人い性格<br>④雷や花火が苦手 |



# 【特別寄稿】 中国五台山参拝旅行に参加して 出牛 裕一



←山西省太原市  
崇善寺にて、根  
通法師と共に

東京より空路北京へ。十時五十五分着、専用バスで天壇公園、天安門城楼の観光。天安門広場の広さと警備には中国らしい。天安門観光し梨園劇場で中国の伝統文化である京劇を観て俳優さんと化粧室を見学。お気に入りの俳優さんと一緒に写真を撮ることもできた。夕食後バスで北京西駅

から夜行列車で五台山へ。列車の窓からトモロコシ畑が一面に広がっていた。早朝より草取りをしている人がぽつりぽつりと見えた。忻州着後専用バスで五台山へ。仏教徒の聖地五台山は広大な地に多くの寺が集積している。観光は金閣寺から始まった。金閣寺は日本の金閣寺と同じ字で静かな境内は孫悟空が出てくるような寺だった。顯通寺でお坊さんが毎日食べている食事を取り、贈品の交換会后、仁叟寺と顯通寺の友好を深め十年後にまた来ることを約束した。寺内を見学し佛光寺、塔院寺、殊像寺を回り、五峰山荘宿泊。五台山から専用バスで太原へ。双塔寺、崇善寺で贈品の交換会をし、寺内を見学し記念写真を撮り、寺を出る。オリンピックでなくなる下町を人力車に乗って中々みることの出来ない下町の人々の生活を見学した。日本とのあまりの差に驚いた。朝食後バスで太原空港へ、空路北京へ。バスで故宮博物院へ観光世界遺産の紫禁城は北京の中心部に位置し、千四百六年に建てられ既に約六百年の歴史を持っており、二十四人の皇帝が五百年近く中国全土を支配していた。中の建物は現存ある中国一の木造殿堂であるという。莫大な古代建築と広大な広さは、さすが中国。けれども再建のため金が不足し、紫禁城での美術品や古陶器を観光客に売るなど日本では考えられないようなことも（本物か不明）

八達峰の長城は中国古代人民の勤勉と知恵の結晶でその時代の完備していた軍事防衛体系で今では観光になり雄大で中国一番の観光地となって世界遺産になっている。長城に登るのには男坂と女坂がある。男坂は九十度もあるというので私たちは女坂の方を登ることにした。中々登りがいがあった。

夕食は御珍舩で薬膳料理の賞味、今まで食べたことのない物を食べ目を白黒させた。中々出来ない経験をさせていただきました。

きました。

中国らしい広大な風景と歴史遺産の宝庫、中国と仏教徒の聖地五台山の旅は大変良い旅行ができました。

→万里の長城にて



## 五台山参拝旅行参加者ご芳名（順不同、敬称略）

渡辺 啓司	渡辺 恵津子	新津 行信	宮澤 二三夫
堀越 兼一	川上 絢子	長谷川 寛見	長谷川 静枝
出牛 裕一	出牛 八重子	出牛 清美	宮 道子
加部 昭興	中曾根 孝	櫻井 信彦	上原 久男
高見澤 篤志			

## 行雲流水（編集後記）

暑かった夏も過ぎ、虫の音が秋を実感させてくれる今日この頃であります。

中国旅行紀行文を書いて下さった出牛裕一さん、ありがとうございました。

また、今秋は10月7日に予定している特派布教師法話会、同じく10月29日に予定

している總持寺最乗寺参拝旅行など当寺共催（会場は仁叟寺）の行事が数多くあります。是非ご参加の程、お願い申し上げます。

編集人 住職 渡辺龍道

→竹林に紅葉

